

JICA 海外協力隊の出発前表敬

エクアドル・コーヒー、セルビア・剣道、ブラジル・病院運営

自身の経験と知識を生かす活動

JICA 海外協力隊として岡山県内の3名の方が4月下旬から5月上旬にかけて派遣されます。4月8日に岡山県庁を表敬訪問するほか、以下の日程で出身地の市長を表敬訪問します。取材・報道および個別インタビューをぜひ、ご検討ください。

《岡山県より出発するボランティア/2023年度4次隊》

氏名(漢字)	氏名(カナ)	出身	派遣国	職種
田中 朋子	タナカ トモコ	岡山市	エクアドル	コミュニティ開発
三好 俊成	ミヨシ トシナリ	倉敷市	セルビア	剣道
形山 千明	カタヤマ チアキ	備前市	ブラジル	病院運営管理

《表敬訪問日程》

表敬先	日時・場所	表敬者
上坊勝則・岡山県副知事	4/8(月) 13:30~13:50	全員
大森雅夫・岡山市長	4/8(月) 11:00~11:15	田中朋子
原孝吏・倉敷副市長	4/9(火) 10:30~11:00	三好俊成
吉村武司・備前市長	4/9(火) 15:00~15:30	形山千明

《志望動機・抱負》

田中朋子さん：大学時代、東南アジアのスタディーツアーを行う団体でインターシップをして、アグロツーリズム（農業観光）を知る。コーヒー関連会社で10年間勤務する中で、中南米のコーヒー産地に興味を持つようになる。エクアドルのコーヒー栽培農家のプロモーション能力強化とアグロツーリズム開発の要請に出会い、JICA 海外協力隊参加を決意。

三好俊成さん：22年間剣道に取り組み、現在、伊田テクノスの実業団剣道部に所属。休職してJICA 海外協力隊に参加。現地ではセルビア代表にも指導予定である。将来、セルビア剣道連盟とパートナーシップを結び、日本で剣道を学びながら働ける人材を育てていきたいと考えている。

形山千明さん：15年前にブラジルの日系病院にJICA 海外協力隊として派遣。帰国後、大学院に進学し「日系人の糖尿病」に関する研究を続けている。今回の派遣では、15年前と同じ病院に戻り活動する。日本食を通じた健康的な食文化の紹介・生活習慣病の予防活動、職員への日本的なホスピタリティ（おもてなし）精神や時間管理の重要性の意識づけ等、日系病院ならではの特長を生かした活動を行う予定。

【 本 件 連 絡 先 】

JICA 中国 市民参加協力課 担当:田辺 塗木
TEL: 082-421-6305 FAX:082-420-8082
E-mail: jicacic-jocv@jica.go.jp

地球から世界へ、世界から地球へ
元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

